

## ロボット事業部 難病の方とつながる

2月25日、世界希少難病の日のイベント「RDD三鷹」に「ロボット事業部」がロボホンとともに参加しました。会場の協働センターには70名余りが参加し、企業ボランティアの病気パネルのほか、ハーブのケアグッズ作り、ALS患者さんの絵本読み聞かせなどで賑わいました。

メインは分身ロボット「OriHime」のセミナー。寝たきりの人も遠隔で操作して旅に出たり、仕事をしたりできます。実演を交えて難病の方と動作つきでつながり、空間を越えた新しい人との関わり方に共感しました。

河村市長も立ち寄って話に加わり、何事も具体的に進めるのは難しい、あきらめる…そんな病を治していくきっかけが見えたイベントでした。



## ものがたり事業部

### ケアの本棚と読み聞かせ

建設中の『みたか多世代のいえ』の応援イベント「とまり木WO体験する日」が、3月23日消費者活動センターにて開催されました。まちのお店がこだわりの逸品を並べ、美味しいカフェやワークショップで賑わいました。

「ものがたり事業部」では、介護関連の本やマンガを貸し出したり、認知症の犬を介護する猫のお話を紙芝居で読み聞かせたり、ケアのきっかけ作りを愉しく行いました。



## おでかけ事業部

### 行楽シーズンを前に練習！

3月26日、渋谷駅までメンバーと車いすで出かけ、乗換や車内トイレの利用、雨天や混雑時の対応など復習しました。迷路のようなターミナルを抜けて、無事にスクランブルスクエアでランチ！

これまでもお孫さんの結婚式に、伊豆の故郷巡り、神戸のお姉さんのお見舞いに、郊外ハイキングなど各地に出かけています。日帰りの行楽からお泊まりまで、ご利用お待ちしております。



お掃除・整理収納好きの「片づけ事業部」  
お料理や軟らか食が得意な「おいしい事業部」  
動物好きの「ペット事業部」もよろしく！

# NPOグレースケア

## NewsLetter Vol.73

2024年  
春号

## 春を満喫♪ お花見からお団子まで



今年は雨が降ったり、開花が遅れたりしましたが、でこちゃんや在宅の利用者さんとは三々五々、連れ立ってお花見に出かけています。

3月30日はポカポカの散歩日和だったので、「花と緑の広場」に行き、たくさんのお花を見ながらゆっくり歩いて回りました。ピンクの可憐なお花は「桜かなあ？」と話していると、公園のスタッフの方から「アーモンドの花」と教えてもらい、一同ビックリ！遊んでいる子ども達を眺めつつ、春の日差しを浴びた後には、近くの「はま寿司」に寄ってデザートを楽しみました。「アイス、ケーキ、わらび餅、三色だんご」からお好きなものを選んで頂くと「あら～！つだけ～!? どれにしようかしら～迷っちゃうわね～」と気分はすっかり女学生。わいわいにぎやかに選んで甘いスイーツを楽しみました。



4月6日、訪問の利用者のOさんは、予定をたびたび変えながらやっとお花見へ！武蔵野市役所近くの桜並木を楽しみ、近くのカフェでお茶をしたり、公園で相棒のぬいぐるみと写真を撮ったりしました。難病のAさんともご家族、ヘルパー数名のケアチームで、夕暮れの小金井公園へ。ちょうど満開になった桜を愛でることができました。また来年も一緒に愉しめるように願っています。

◀遅咲きの桜に待ちきれず、でこちゃんでは春休みの小学生スタッフHちゃんと共に、お部屋を特設花見会場に仕立て、皆で手作りおはぎを食べました。



NPOグレースケア



三鷹オフィス 三鷹市下連雀3-17-9  
Tel 0422-70-2805 / Fax 24-8307

天文台オフィス 三鷹市大沢2-2-13  
Tel 0422-30-8815 / Fax 30-8816

武蔵野オフィス 武蔵野市西久保3-18-14  
Tel 0422-27-5430 / Fax 27-5431



となりのてこちゃん

三鷹市牟礼6-11-2  
Tel 0422-26-7597  
Fax 0422-26-7598



ひとまちこ

三鷹市牟礼5-12-26  
Tel 0422-24-9275  
Fax 050-3737-7826



むかいのたちちゃん

三鷹市牟礼5-12-25  
Tel 0422-57-8290  
Fax 050-3737-7826



くまちゃんのみ

三鷹市牟礼5-12-26  
Tel 090-7599-8234



NPOグレースケア

<https://g-care.org>





## 【インタビュー】 温かいお人柄、成り立ちの1世紀

グレースケアは赤ちゃんから超高齢者まで、様々な方にご利用いただいています。お一方ずつご紹介しながら、率直な声も伺えれば…という新コーナー。今回は「となりのでこちゃん」に通う川手久子さんご家族の青柳洋子さんにお話を聴きました。

久子さんは東京で生まれ、幼少期は海軍の軍人さんだったお父様と各地を移り住んだそうです。東京女子大の英文科で学んだ後「いのちの電話」のボランティアや結婚相談カウンセラーなど、人とかかわる仕事を続けてこられました。日系米国人のルーツをもつご主人と結婚され、クリスチャンとして教会の様々な奉仕活動や、生け花の先生などでも忙しくされていたそうです。

でこちゃんは「おやつが美味しい」「トランプや百人一首をやるのが楽しい」とお話しくださいました。娘の洋子さんからは「母は出かけるのが好きな人だから、でこちゃんのお迎えも楽しみに待っています。みんなで“普通”に過ごせるのが良いですね」とのこと。「その人らしく」を支えるまちの居場所でこちゃん、雰囲気を感じてくださってありがとうございます。

ちょうど3月30日には100歳を迎えられ、曾孫さんなど25人も集まりお祝いされたそうです。でこちゃんでも皆でケーキを手作りしてパーティを開き、ご感想を伺ったところ「気持ちはまだ60歳!」

川手さんにはいつも温かい笑顔とお人柄に感じ入るのですが、1世紀に及ぶ長い人生に一貫した芯を伺い知ることができました。「また来てね、おしゃべりしましょう!」とにこやかに見送って下さり、こちらも元気を頂いたひとときでした。



▲でこちゃんでお料理中の久子さん

インタビュー全文はホームページで公開予定! →



## となりのでこちゃん

### ご家族とまちなかカフェ



となりのでこちゃんを利用されている方のご家族同士が交流できる茶話会、その名も「お茶べり会」を開催しました。今回は井の頭地域包括支援センターの藤澤さんにもお越しいただき、スタッフも交えて自己紹介からスタート。ご家族の方が持ってきてくださった手づくりお菓子を囲みながらの会となりました。

でこちゃんのサービスや取り組みをご紹介しつつ、ご家庭での介護のことや、これから親の介護が必要になる世代の話のほか、「地域で認知症や障がいを持っていても暮らしていくには?」などの疑問も、ざっくばらんにお話しできました。



参加したご家族からは「なんかスッキリした」「ちょっとしたアドバイスが聴けてよかった」など、ご感想をいただきました。お土産にはでこちゃんの皆さんが作った干し野菜をお渡ししました。

今後も「お茶べり会」は継続して開催していきたいと思っています。でこちゃんに加えて、訪問介護やむかひのさっちゃんなど、他のサービスをご利用のご家族様やケアラーの方も、ご興味ある方はぜひご参加ください!

◀干し野菜、皆で手分けして作っています



## ゆるケアの知恵袋

### 五感をフル活用! 認知症ケアの世界



3月20日、藤原かヘルパーによる公開研修『認知症との出会いとケアの発見』を開催しました。30年以上に渡り長く現場で活躍してきた藤原は「認知症の方が不安になるのは自分を守るためであり、忘れる恐怖が常にあるということを支援者は想像する必要があります。大事なものは“五感で理解すること”」と語ります。

まず参加者同士で認知症の方との初めての出会いと印象をグループワークで共有しました。その後「訪問したら“新聞が届かない”とへたり込んでいた利用者さん」の事例をも

とに、“新聞”が利用者さんにとってどのような体験だったかを想像しました。情報を届ける(視覚)だけでなく、通勤時に読んだインクの匂いや(嗅覚)、鼻をかんだりお尻を拭いたり(触覚)、チャンバラごっこにはクシャクシャと音がしたり(聴覚)、写真から味を想像したかもしれない(味覚)…など様々な場面が挙がりました。ことばや意味の世界だけではなく、このような「体感記憶」を意識して関わることで、その人の積み上げた“生活の厚み”に近づき、豊かなケアにつながるのではないかと…

つい標準化したスキルを求めがちな昨今、個別の体験である五感を意識した切り口は、関わりを深めるヒントになりました。グレースケアでは引き続き多様なテーマで研修を行っていきます。

ぜひご参加ください!

なお、ケアの向上には何より介護人材の不足にも取り組みが必要。今春の改定では、訪問介護の報酬が切り下げられ、危機感が募っています。3月28日にはテレビ朝日『ワイドスクランブル』に藤原と柳本がVTR出演し、課題と取り組みを訴えました。



## 役者さんからヘルパーの舞台へ

役者や脚本演出などをしていました。昨年関わった朗読劇の原作小説の主人公が、物語の終盤で介護施設で働き始める姿に共感し、介護のお仕事に興味を覚えました。

ケアのお仕事は初めてのことでばかりで悪戦苦闘していますが、学ばせて頂くことが多く、日々ワクワクしております。

お絵描きやアコーディオン練習、卓球、一人カラオケ、特別な用事がなくても着物を着ることが大好きです。利用者さんに少しでも安心して頂ける人間になれるよう鍛錬したいと思いますので、今後とも何卒よろしくお願いたします。

いまなら ゆうか  
今奈良 友香さん

